

治療

2013

10

Vol.95

<http://www.nanzando.com/>

特集

日常診療能力を高めるための 漢方活用術



漢方医学特有の基本概念って難しいからなあ……
そんな超初心者でも問題なく取り組めるよう、
実際の現場で使える情報に限って、わかりやすく解説。
あなたの診療のハバ、広げます!

Feature

日常診療能力を高めるための漢方活用術

今月の視点 雨森正洋 1675

漢方薬を処方する際に注意を要する疾患

構成生薬別一覧表 渡辺賢治 1676

漢方・東洋医学の教育とエビデンス

小柴胡湯の副作用事例の遺したもの 元雄良治 他 1678

医学部教育における漢方医学教育 柴原直利 他 1683

卒業教育における漢方教育

—卒業臨床研修および研修指導医の現状と課題— 山脇正永 1687

漢方治療のエビデンス 元雄良治 1691

鍼灸の検証 山下 仁 1695

漢方薬の生薬構成について理解する 東 理 1699

エキス剤のメリットと限界 入江祥史 1703

〈column〉漢方と中医学の違い 小池 宙 1708

漢方医学的身体所見

舌・口腔の診察—とくに舌診について— 三谷和男 1710

腹 診 並木隆雄 1714

脈の診察 大野修嗣 1721

漢方医学特有の症候

瘀 血 西田欣広 1725

冷 え 犬塚 央 1729

腎 虚 渡辺賢治 1733

すんなりわかる

実践！ 日常診療能力を高めるための漢方活用術 藤田浩二 1738

一般社団法人日本プライマリ・ケア連合学会
若手医師部会／医学生・若手医師支援委員会 協力

各主症状の漢方的診断を併用した分類と治療

一次性頭痛 来村昌紀 1744

めまい 五野由佳理 1752

聴覚障害・耳鳴 今中政支 1757

嘔 声 内藺明裕 1762

動 悸 小池 宙 1767

咳 加藤士郎 他 1771

嚥下困難 米田吉位 1776

消化管運動(機能)障害 千福貞博 1778

腰痛・しびれ 川嶋 朗 1783

関節痛 織部和宏 1788

排尿障害(頻尿・尿失禁) 関口由紀 1792

肥満症 板東 浩 他 1796

〈編集幹事〉雨森正洋 雨森医院(滋賀県)院長

〈編集アドバイザー〉元雄良治 金沢医科大学腫瘍内科学教授／集学的がん治療センター長

川嶋 朗 東京女子医科大学附属青山女性・自然医療研究所自然医療部門准教授

小泉久仁弥 くにやクリニック(東京都)／昭和大学薬学部兼任講師

東 理 かりゆしクリニック(滋賀県)院長

Series

医者のストレス、患者の不満 ⑩

プラセボ効果の怪 寺本研一 1806

私たちはこんな世界を生きている —アスペルガー症候群の当事者研究— ①

当事者がみた成人アスペルガー症候群への支援
—社会技能と自己認知の観点から— 渡壁典弘 1808

〈監修〉加藤進昌 昭和大学附属島山病院院長

〈編集〉定松美幸 金城学院大学人間科学部多元心理学科教授

News & Trend

「治療」「薬局」「Rp. レシピ」合同座談会

一般内科で遭遇する「不眠」とその薬物療法
第3回 不眠への処方の方針と管理のポイント 吉尾 隆 他 1810

漢方薬を処方する際に注意を要する疾患

構成生薬別一覧表

渡辺賢治

慶應義塾大学環境情報学部 / 医学部漢方医学センター 教授

生薬	代表的処方	注意を要する疾患・病態	予想される症状	使用上の注意
麻黄	越婢加朮湯 麻黄湯 葛根湯 麻杏甘石湯 神秘湯 小青竜湯 麻黄附子細辛湯	高血圧	血圧上昇	①麻黄を含むエキス製剤を2種類以上併用する場合には、麻黄の過量投与に注意(例：小青竜湯と麻杏甘石湯との合方、小青竜湯と神秘湯の合方)
		甲状腺機能亢進症	交感神経興奮作用	②交感神経興奮様作用を有する交感神経作動性薬とは相乗作用があるので併用する際は注意しなくてはならない(例：モノアミン酸化酵素(MAO)阻害薬、抗甲状腺薬、カテコールアミン製剤、キサンチン系薬剤、エフェドリン類含有製剤)
		前立腺肥大	尿閉	③ジギタリス強心配糖体と併用する場合には、ジギタリス中毒を増強し、心室性不整脈の危険性が高まる
		慢性胃炎	胃もたれ・食欲不振	④α遮断薬あるいはβ遮断薬と併用する場合には、相互に作用が减弱する。硝酸薬の抗狭心症作用を减弱する
甘草	芍薬甘草湯 半夏瀉心湯 小青竜湯 人参湯 炙甘草湯	高齢者 下薬服用者 アルドステロン症の患者 ミオパチーのある患者 低カリウム血症のある患者	浮腫、高血圧、低カリウム血症、横紋筋融解症 低カリウム血症性ミオパチー(知覚障害、四肢麻痺)	①甘草はエキス製剤の70%に含まれているため、2種類以上併用する場合には、甘草の過量投与に注意(例：芍薬甘草湯と十味敗毒湯など) ②西洋薬(グリチルリチン酸製剤およびその塩類を含有する薬剤)との併用注意(例：強力ネオミノファーゲンシー [®] 、グリチロン [®] など、ループ利尿薬、サイアザイド系利尿薬)
			高齢者 慢性閉塞性肺疾患(COPD)	間質性肺炎 肝機能障害

生薬	代表的処方	注意を要する疾患・病態	予想される症状	使用上の注意
附子	八味地黄丸 牛車腎気丸 真武湯 附子製剤	過量投与による附子中毒	附子中毒(初期：酔い、のぼせ、しびれ感、灼熱感、心悸亢進。中期：流涎、舌の強直、悪寒、冷汗、悪心、嘔吐、口渴、胃痛、腹痛、起立不能、下痢。末期：四肢厥冷、チアノーゼ、瞳孔散大、体温低下、血圧低下、喘鳴、意識混濁、不整脈、呼吸緩慢、麻痺)	附子中毒を起こすアルカロイド量はコントロールされており、製剤の通常量ではとくに使用上の心配はない。附子製剤を加えて使うときには量を少量から始めるなどの注意が必要である
		高血圧	血圧上昇	附子剤中止で可逆性
大黄	大黃甘草湯 桃核承気湯 潤腸湯 麻子仁丸 桂枝加芍薬大黃湯	下痢	下痢、腹痛、骨盤内うつ血	大黄の入った漢方薬は、量・飲むタイミングを自分で調節するように指示する
		胃炎	胃もたれ・食欲不振、嘔気、嘔吐、胃痛、腹痛、下痢など	薬剤中止により症状は取れる
桂皮	四物湯 八味地黄丸 牛車腎気丸 七物降下湯 十全大補湯 温清飲 桂皮湯 桂皮加芍薬湯 葛根湯	アレルギー体質	じんま疹	桂皮以外にも漢方製剤で薬疹の出現することはあり、時間的因果関係に注意して、薬疹を疑った場合には中止して様子をみる必要がある

参考文献

- 1) 薬山邦規, 田坂佳千, 中島正光, 他: 小柴胡湯による薬剤誘起性肺炎の1例. 日本胸部疾患学会雑誌, 27 (12): 1556-1561, 1989.
- 2) 岡田裕美, 渡辺賢治, 鈴木幸男, 他: 半夏瀉心湯, 小柴胡湯により薬剤性肝障害ならびに間質性肺炎を来した一例. 日本東洋医学雑誌, 50 (1): 57-65, 1999.
- 3) Tanahashi T, Mune T, Morita H, et al: Glycyrrhizic acid suppresses type 2 11 beta-hydroxysteroid dehydrogenase expression in vivo. J Steroid Biochem Mol Biol, 80 (4-5): 441-447, 2002.
- 4) Yasue H, Itoh T, Mizuno Y, et al: Severe hypokalemia, rhabdomyolysis, muscle paralysis, and respiratory impairment in a hypertensive patient taking herbal medicines containing licorice. Intern Med, 46 (9): 575-578, 2007.
- 5) 五十嵐信智, 志村彩香, 竹澤 崇, 他: 漢方専門外来受診患者における漢方薬服用に関する実態調査1—漢方薬と西洋薬の併用—. 医療薬学, 33 (4): 353-358, 2007.
- 6) 渡辺賢治: 薬効群別副作用—漢方薬の代表的な副作用と注意事項. 日本臨牀増刊—医薬品副作用学, 第2版, 日本臨床社, 大阪, 297-303, 2012.